

地方創生・行財政対策特別委員会 行政調査

1 調査日 平成28年7月28日（木）

2 調査の概要

（1）浜縮緬工業協同組合（長浜市祇園町）

調査内容 ・長浜縮緬の現状について

・浜縮緬工業協同組合の皆さんとの県民参画委員会

本県の地場産業の一つである長浜縮緬は、250年以上も前から生産されてきた伝統があり、絹織物の最高級品といわれる品質を誇っているが、昨今の和装需要の減退等により、生産量はピーク時の10分の1にも満たないのが現状で、伝統の維持と時代の変化への適合等が課題となっている。



本年3月、「近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する条例」が、地方創生特別委員会の提案により制定された。このことを踏まえ、今年度、県では、地場産業および地場産品の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、基本指針を策定することとしており、地場産業および地場産品に関する市場動向等の実態調査が進められている。

このことから、地場産業の産地の現状や課題を把握するため、浜縮緬工業協同組合を訪問し、調査および意見交換を行った。



（２）滋賀県立近江富士花緑公園（野洲市三上）

調査内容 ・ 施設の運営状況について

近江富士花緑公園は、県民の緑化意識を高め、豊かな心の醸成および健康の増進を図るため、平成４年に設置された自然公園である。本施設は、平成１８年４月から指定管理制度が導入され、現在、近江鉄道ゆうグループと平成２６年４月から平成３１年３月までの指定管理契約が締結されている。



本施設では、散策コース、植物園、宿泊休憩施設、展示施設、体験学習施設等が管理運営されるとともに、緑化意識の高揚を図るためのイベントや自然体験プログラムが実施されているが、指定管理者グループのスケールメリットを活かした経費削減やサービス内容の充実等の効果が期待されるところである。

このことから、公の施設における運営改善の状況や指定管理の効果を把握するため、近江富士花緑公園を訪問し、施設運営の現状について調査を行った。